

令和5年度 学校経営計画及び学校評価

<めざす学校像>

- ・女子だけの通信制高校の特色を生かした柔軟な学習環境を提供する。
安心して学べる柔軟な環境を整備。通信制・単位制の特長とICTを活用した学びを充実させます。
- ・向上心を持つ生徒が成長できる場を提供する。
学びに意欲的な生徒が自らの力を伸ばし、自信を持って未来に挑戦できるよう支援。進学率や単位修得率を向上させ、生徒の成長を後押しします。
- ・お互いを尊重し支え合う学びの場を提供する。
教育を通じて思いやりの心を育み、生徒と教職員が協力し合い、安心して学べる環境を目指します。
- ・キャリア形成を支える進路サポート
生徒の将来を見据えた進路指導を強化し、大学進学を含めた多様な進路選択をサポート。生徒が自ら未来を切り拓く力を育む学校を目指します。

<中期的目標>

①一人ひとりに寄り添う学習・生活サポートの強化

- (ア)全生徒および保護者との面談を前・後期に実施。一人ひとりの学習・生活状況を把握し、教職員間で情報を共有します。
- (イ)面談結果を参考にして、生徒一人ひとりに適した学習支援や生活サポートを実現し、安心して学校生活を送ることができる環境を整えていきます。

②学びに意欲的な生徒を増やすための特別プログラムと進学指導の強化

- (ア)学習相談を望む生徒への指導強化
- (イ)学び直しデジタル教材導入による学力向上の支援。

③未来に向けたキャリア形成と進路サポートの強化

- (ア)生徒の進路希望を早期に把握するための「進路希望調査」を確実に実施し、進路希望調査に基づく適切な進路指導を行う。
- (イ)大学進学に向けた「進路説明会」を策定し、体系的・継続的な進路指導を実施。進学希望者向けに個別相談を実施し、進路意識の向上を目指す。
- (ウ)卒業後に生徒が社会で自立できるよう、卒業生や大学との連携を強化し、キャリアガイダンスを拡充。

④教員の働きやすい環境作りで生徒に安心を提供

- (ア)教職員の働きやすさの向上
教職員が属人化された業務から脱し、タスクの見える化と共有化を通じて、仕事量の公平化を促進します。
これにより、教職員全体の働きやすさを向上させ、効率的な職場環境を整えます。
- (イ)職場の風通しとコミュニケーションの強化
管理職との円滑な意思疎通を図り、職場の風通しを良くすることで、教職員同士が互いの仕事を理解し、認め合う環境を作ります。結果、ストレスの少ない職場環境を実現し、教職員の質向上につなげます。

⑤女子だけの通信制高校という特色を生かした広報活動の強化

- (ア)女子だけの通信制高校としての唯一性を強調し、SNS や Web サイトを活用して広報活動を強化。
- (イ)外部合同相談会への積極的な参加と、学校見学&個別相談会への誘導を強化。

＜自己評価アンケートの結果と分析＞

令和6年3月実施(個別聞き取りでも実施)

- ・保護者アンケート: 15 人を対象に実施
- ・教職員アンケート: 10 人を対象に実施

【分析概要】

個別サポートでは、多くの保護者が面談による支援に満足しており、生徒一人ひとりに適切な対応が行われていると評価されていますが、一部で情報共有の不足が指摘され、より細やかな対応が求められています。学びに意欲的な生徒へのサポートについても、デジタル教材の導入や学習相談が基礎学力の向上に貢献しているとの評価が多く見られましたが、学習相談率をさらに高めるための工夫が必要です。進路指導とキャリアサポートについては、進路希望調査や個別相談が有効に機能しており、進路説明会やキャリアガイダンスが進路意識の向上に繋がったとの意見が多いものの、進路選択の幅を広げることが今後の課題です。教職員の働きやすさについては、タスクの見える化や管理職とのコミュニケーションが改善され、働きやすい環境が整いつつあると評価されていますが、仕事量の公平化に関してはさらなる調整が必要です。最後に、広報活動では、SNS や Web サイトの活用が好評を得ていますが、一部地域での認知度向上にはまだ課題が残っており、外部合同相談会や中学校へのアプローチ強化が求められています。

＜学校評価委員会からの意見＞

令和6年8月9日(金) 18 時～実施

1. 個別サポートの充実

面談を通じた個別サポートが保護者から高く評価されており、生徒一人ひとりに適した学習支援が行われている点は非常に良かったと思います。しかし、一部で情報共有に不足感があるとの指摘があったため、保護者や教職員間のより詳細なコミュニケーションが必要です。

2. 学びに意欲的な生徒へのサポート

デジタル教材の導入や個別学習相談が基礎学力向上に貢献している点は非常に評価されます。ただし、学習相談率をさらに高めるためには、もう少し積極的なアプローチが必要です。生徒や保護者に対する情報提供や学習支援の魅力を訴える方法を見直すことが重要です。

3. 進路指導とキャリアサポートについて

進路指導やキャリアガイダンスが生徒と保護者に非常に高く評価されている点は結構です。大学進学に加え、就職や専門学校への進路支援をもう少し強化することが望まれます。

4. 教職員の働きやすさと職場環境

教職員間のタスクの見える化や管理職とのコミュニケーション改善が進んでいる点は評価されます。ただし、完全な仕事量の公平化にはまだ課題が残っており、引き続き調整が必要です。また、さらなる職場の風通し向上が、教員の働きやすさ向上に繋がると考えられます。

5. 広報活動について

女子だけの通信制高校としての広報活動が強化され、SNS や Web サイトの活用は非常に効果的であったと思われます。特に個別相談の参加者が増加したことは大きな成果です。ただし、まだ地域社会や一部の中学校での認知度が十分ではないため、地域への広報戦略のさらなる充実が求められます。

<本年度の取組内容及び自己評価>

1 一人ひとりに寄り添う学習・生活サポートの強化

【今年度の重点目標】

生徒および保護者との面談を前・後期に実施し、個別の学習・生活状況を把握して、適切なサポートを提供する。

【具体的な取組計画・内容】

- ・全生徒および保護者との面談を前・後期に実施し、教職員間での情報共有を強化。
- ・支援の必要な生徒の学習計画を提案し、生活サポートも含めたフォロー体制を確立。

【評価指標】

- ・面談実施率 90%以上を達成する。

【自己評価】

面談は予定通りほぼ全生徒と保護者に対して実施し、個別の学習状況や生活サポートに対するフィードバックを集めることができました。教職員間の情報共有体制も確立し、生徒への対応が迅速かつ的確になりました。ただし、情報の共有に関しては一部で不足感が指摘され、今後さらなる改善が必要です。

2 学びに意欲的な生徒を増やすための特別プログラムと進学指導の強化

【今年度の重点目標】

学びへの意欲を向上させる取り組みを強化し、そうした生徒の数を増加させる。

【具体的な取組計画・内容】

- ・学習相談を希望する生徒への個別指導を強化。
- ・学び直しのためのデジタル教材を導入し、学力の底上げを支援。

【評価指標】

- ・学習相談希望者の満足度 80%以上を目指す。
- ・デジタル教材利用者の学力向上率(成績)を前年度比 10%向上させる。

【自己評価】

個別学習相談の実施により、生徒からの満足度は高く、学習意欲が向上したとのフィードバックを得ました。デジタル教材の導入も順調に進み、特に基礎学力の底上げに貢献しています。ただし、学習相談の希望者数がまだ少なく、より積極的な呼びかけが必要です。

3 未来に向けたキャリア形成と進路サポートの強化

【今年度の重点目標】

進路希望調査を確実に実施し、個別進路相談を強化して、進路サポートの質を向上させる。

【具体的な取組計画・内容】

- ・進路希望調査を前・後期に実施し、進路指導を個別化。
- ・大学進学説明会やキャリアガイダンスを実施し、進路意識を高める。

【評価指標】

- ・進路希望調査の実施率 100%を達成する。
- ・進学希望者の進学率を前年比 10%向上させる。
- ・卒業生のキャリアに対する満足度を 80%以上にする。

【自己評価】

進路希望調査は全生徒に対して確実に実施され、適切な進路指導が行われました。進学説明会やキャリアガイダンスも実施され、進学希望者の進学率は前年比を保ちました。卒業生や大学との連携も進展が見られましたが、キャリアサポートのさらなる充実が求められます。

4 教員の働きやすい環境作りで生徒に安心を提供

【今年度の重点目標】

教職員の働きやすさを向上させ、教職員間のコミュニケーションを強化し、効率的な職場環境を整備する。

【具体的な取組計画・内容】

- ・タスクの見える化と共有化を通じて、教職員の仕事を公平化。
- ・管理職との意思疎通を促進し、職場の風通しを良くするための定期ミーティングを実施。

【評価指標】

- ・教職員アンケートでの「働きやすい環境である」と感じる肯定率 80%以上を目指す。
- ・教職員間のコミュニケーション満足度 80%以上を目指す。

【自己評価】

タスクの見える化や共有化を進めた結果、教職員の仕事量が均等化され、働きやすい環境が整いました。また、管理職とのコミュニケーションも円滑に進み、職場の風通しが改善されたとの意見が多く見られました。しかしながら一部の教職員間では、さらに細かな調整が必要とされる課題も残っていると思われま

5 女子だけの通信制高校という特色を生かした広報活動の強化

【今年度の重点目標】

女子だけの通信制高校としての唯一性を強調し、広報活動を強化して認知度を向上させる。

【具体的な取組計画・内容】

- ・SNS や Web サイトを活用して、広報活動を強化。
- ・外部合同相談会への参加を増加させ、学校見学&個別相談への誘導を強化。

【評価指標】

- ・SNS フォロワー数や Web サイトアクセス数を前年比 10%向上させる。
- ・学校見学&個別相談の参加者数を前年比 10%増加させる。

【自己評価】

広報活動の強化により、SNS のフォロワー数や Web サイトアクセス数は増加傾向にあります。学校見学&個別相談への参加者も順調に増加し、認知度の向上が見られました。ただし、広報戦略にさらに工夫が必要との意見もあり、今後の改善に取り組んでいく必要があります。

保護者アンケート結果（有効数 15 件）

No	質問内容（全 25 問）	4	3	2	1
1	本人は授業を理解していると思われませんか（専門科目）？	46.7	40.0	13.3	0.0
2	本人は授業を理解していると思われませんか（一般科目）？	40.0	40.0	20.0	0.0
3	先生はわかりやすく授業を行っていると思われませんか（専門科目）？	53.3	33.3	13.3	0.0
4	先生はわかりやすく授業を行っていると思われませんか（一般科目）？	53.3	33.3	13.3	0.0
5	本人の成績は適正に評価されていると思われませんか（専門科目）？	73.3	20.3	0.0	6.7
6	本人の成績は適正に評価されていると思われませんか（一般科目）？	73.3	20.3	0.0	6.7
7	本人は校則を守っていると思われませんか？	66.7	33.3	0.0	0.0
8	校則・生活指導は厳しいと思われませんか？	6.7	40.0	26.7	6.7
9	本人と先生との関係は良好だと思われませんか？	53.3	40.0	0.0	6.7
10	本人と友だちとの関係は良好だと思われませんか？	33.3	53.3	13.3	0.0
11	先生は本人と十分対話ができていると思われませんか？	40.0	53.3	0.0	6.7
12	保護者は本人と十分対話ができていると思われませんか？	66.7	20.0	13.3	0.0
13	本人は先生に気軽に相談できると思われませんか？	33.3	46.7	13.3	6.7
14	保護者は先生に気軽に相談できると思われませんか？	53.3	40.0	0.0	6.7
15	保護者宛の連絡文書は手元に届いていると思われませんか？	66.7	20.0	13.3	0.0
16	進学に関する指導ができていると思われませんか？	60.0	33.3	0.0	6.7
17	就職に関する指導ができていると思われませんか？	33.3	53.3	6.7	6.7
18	本校が行う健康管理は適切に行われていると思われませんか？	40.0	53.3	0.0	6.7
19	文化祭等の学校行事は充実していると思われませんか？	26.7	33.3	26.7	13.3
20	クラブ活動は活発に行われていると思いますか？	13.3	46.7	20.0	13.3
21	校内での教職員の対応は丁寧だと思われませんか？	66.7	33.3	0.0	0.0
22	設備は充実していると思われませんか？	46.7	33.3	20.0	0.0
23	校内の清掃は行き届いていると思われませんか？	73.3	20.0	6.7	0.0
24	本人の出身中学校周辺の本校の評判は良いと思われませんか？	20.0	80.0	0.0	0.0
25	本人は学校を楽しんでいると思われませんか？	40.0	46.7	13.3	0.0

4: そう思う 3: どちらかと言うとそう思う 2: どちらかと言うとそう思わない 1: そう思わない